

外字サーバEV 導入事例

ネットワークで外字を一元管理する事ができる 「外字サーバEV」は、必要不可欠なサービスです！

今回、「外字サーバEV」を導入された経緯を教えてください。

本学では兼ねてより人名に重きを置いており、その人物の正式な名前にて表記したいという強い意向がありました。その際、JIS第一・第二水準漢字*の漢字搭載数だけでは人名に関し本学の意向を満たす事はできず、なおかつ外字を作成する手間を考えた結果、業務効率化の観点を踏まえ、2002年から他社の外字製品を導入して対応していました。本学が他社製品から「外字サーバEV」導入に切り替えた理由は、導入していた外字製品の販売終了に伴うサポート対応の終了といった事態にあります。そこで代替りとなる外字製品の導入が必要となり何社かのシステムインテグレーターに問い合わせた際、複数から優良製品として推薦された製品が「外字サーバEV」でした。

「外字サーバEV」を選定されたポイントについて教えてください。

現在、椋山女学園では星が丘キャンパス、日進キャンパス、山添キャンパスの3キャンパスがありますが、「外字サーバEV」なら3キャンパスに対してもシステムで一元管理できる点が導入の決め手となりました。また、「外字サーバEV」へ移行する際、使用していた外字製品の会社とダイナコムウェア側で上手く連携してスムーズに移行を行なってもらえた点も選定理由です。その他、価格面でも非常に魅力的な提案を受けたのも大きかったです。

「外字サーバEV」の使用状況、今後の展望などをお聞かせください。

「外字サーバEV」の使用用途として大学の事務業務での活用が多くを占め、中でも学園の人事課で名簿などの資料作成での部分で重宝しています。移行がスムーズに行えた事で、懸念の1つであったシステムの切り替えによる使用者の混乱といった部分がなかった点も非常に助かりました。2008年9月に正式に外字サーバEVを導入後、2011年10月には外字を使用する部署の増加による追加のライセンスを導入しました。今後の展望として、「外字サーバEV」を大学の業務の活用だけでなく、学園の中学校、高等学校においても導入を検討しています。

*JIS第一・第二水準漢字：第1水準漢字の文字数は2,965文字、第2水準漢字は3,390字となっています（2004年まで）。

学校法人 椋山女学園

所在地：〒464-8662
名古屋市千種区星が丘元町17番3号
TEL：052-781-1186（代）
URL：<http://www.sugiyama-u.ac.jp>



導入事例 インタビュー

学校法人 椋山女学園
学園情報センター

外字サーバEV

「外字サーバEV」はネットワーク上の外字処理を総合的にサポートする製品です。Windowsの操作性、データ互換などのメリットを最大限に活かした外字処理を提供します。メインフレームメーカー文字セットと対応テーブルを用意することで、メインフレームとの文字互換が取れます。自治体・民間の団体に多くの導入実績がございます。